

令和元年度 学校評価アンケートの結果を受けて

大磯町立大磯中学校長 原田 康弘

まずは、たいへん御多用の中、学校評価に関するアンケートに御協力いただき、有り難うございました。アンケート集計（生徒・保護者）がまとまりましたのでご報告いたします。

アンケート項目は全般的に「おおむね良好な結果」でした。これも一重に保護者の皆様をはじめ関係各位の御理解と御協力のお陰であると、併せて感謝申し上げます。しかし、「不十分である」という回答や厳しいご意見も頂いております。貴重な声として、教職員全員で改善を図っていきま。詳細につきましては、別紙およびホームページを御覧いただき、今後とも変わらぬ御理解・御協力を賜れば幸いです。保護者の皆様及び関係各位とのさらなる連携を図り、生徒のより良い未来づくりを支える教育活動の実施に努めてまいりますので、来年度もよろしく願いいたします。

質問【教育活動に満足していますか？】

【生徒】	「総合的に見て、大磯中学校の教育活動に満足していますか」			
	「はい」 + 「おおむね」	88%	⇒ 89%	⇒ 89% (±0P)
		H29	H30	R1
【保護者】	「本校の教育活動全般について満足していますか」			
	「はい」 + 「おおむね」	86%	⇒ 88%	⇒ 91% (+3P)
		H29	H30	R1
【教職員】	「大磯中での勤務に、概ね満足している」			
	「そう」 + 「ほぼ」	74%	⇒ 85%	⇒ 82% (-3P)
		H29	H30	R1

○9割に近い生徒が学校生活に満足度してはいますが、今後も生徒と共に考え、過ごしやすい学校をつくりあげていきます。

○保護者の満足度も少しずつではありますが増えています。自由記述では授業の充実、生徒の自主性と教職員の関わり方などお褒めのお言葉をいただく一方で、厳しいご指摘もいただきました。また、教職員の働き方に伴い、健康を心配してくださる温かいご意見もいただきました。今後もみなさまのご理解・ご協力を頂きながら、子供たちのために力を注いでいきます。

○教職員の満足度は若干下がりました。職員の多忙感を少しでも改善するように仕事分担の検討や精選をしてはいるものの、勤務時間を超えた校務ならびに働き方改革、部活動等の課題などが要因となっていると考えられます。引き続き改善に向けて取り組んでいきます。

質問【授業の工夫・改善は図られていますか？】

【生徒】	「先生は分かりやすい授業をしようとしていますか」			
	「はい」 + 「おおむね」	88%	⇒ 88%	⇒ 92% (+3P)
		H29	H30	R1
【保護者】	「先生は楽しく分かりやすい授業をしよう工夫・改善に努めていますか」			
	「はい」 + 「おおむね」	80%	⇒ 78%	⇒ 85% (+7P)
		H29	H30	R1

○一昨年度より指導法の工夫・改善や「主体的・対話的で深い学び」に向けて研究し、授業の向上を図りました。生徒が92%、保護者が85%の肯定的な回答や年々向上している点から、一定の成果が出ていると判断します。しかし、生徒・保護者ともに授業の進め方や評価に対して改善のご意見もあることから、生徒の「資質・能力」を着実に育成する教育実践、適切な評価を今後も工夫・改善してまいります。

☆生徒結果から (「はい・おおむね」合計の比較)

生活面	H27	H28	H29	H30	R1
・TPOをわきまえた服装、行動	93%	94%	93%	93%	93%
・時間を守る生活	89%	88%	83%	86%	91%
・行事等、学年を超えて楽しく協力	94%	94%	92%	91%	90%
・目標をもって、自分で努力した	80%	79%	84%	82%	85%

○多くの生徒が学校目標をよく理解し、楽しく学校生活を送っているようです。時間を守る生活や目標に向けて努力をするという点でも向上が見受けられます。今後もしっかりと目的を考えさせながらともに取り組んでいきたいと思ひます。

学習面	H27	H28	H29	H30	R1
・授業に集中して取り組みましたか	89%	86%	82%	85%	86%
・先生はわかりやすい授業をしようとしていますか	87%	88%	88%	88%	92%
・わからないことを質問できましたか	73%	64%	76%	69%	70%
・適切に評価されていますか	84%	85%	85%	83%	90%

○わかりやすい授業しようとする教師の姿勢が生徒の評価として表れています。この後も研究してわかりやすい、質の高い授業をめざしていきます。話し合い活動を多く入れた授業展開を工夫し、生徒の思考、発言の機会を積極的に設け話しやすい雰囲気づくりを心がけたいと思ひます。

その他	H27	H28	H29	H30	R1
・いじめをはじめ間違っことをしたとき先生は指導していますか	83%	90%	88%	88%	88%
・悩みなど相談できる先生やスクールカウンセラーなどの人がいますか	61%	63%	79%	83%	83%

○相談については、学期ごとの教育相談以外に夏休み、冬休み明けに希望する教員と面談の機会を設け、生徒たちの声を少しでも多く受け止めることができるようにしています。その成果が出ているようです。今後も継続していきたくと思ひます。いじめに関して、防止はもとより、早期発見や早期対応を継続的に職員全体で行っていきまひます。

☆保護者結果から (「はい・おおむね」合計の比較)

	H27	H28	H29	H30	R1
・学校教育目標を踏まえた生徒の育成について努めていると思ひますか	92%	95%	85%	85%	92%
・教職員は楽しくわかりやすい授業改善に努めていますか	81%	82%	79%	78%	85%
・教職員は生徒の能力を適切に評価していますか	81%	83%	83%	81%	86%
・学校はいじめをなくすため前向きに取り組んでいますか	80%	86%	79%	78%	82%
・学校と家庭の連携が図られていますか	73%	78%	82%	84%	86%

○教育目標を踏まえた生徒の育成においては、毎年高い評価をいただいています。良き伝統を引き継ぎ、発展させながら、これからも生徒を中心に据えた活動に取り組んでまいります。

評価についても「楽しくわかりやすい」授業づくりをさらに推進しながら生徒の学習意欲を高め、生徒の能力の向上に努めてまいります。

また、「相談できる教職員はいますか」「家庭の連携が図られていますか」という保護者への質問に対してそれぞれ83%、86%が「はい」「おおむね」と回答していただいています。これからも、信頼される学校を目指し、適切な情報の発信や連絡など家庭との連絡を密にして、生徒を今後も温かく見守っていきたくと思ひます。